



研究テーマ

- 1 障がい者スポーツにおけるマイオカインなどの内的因子に関する研究
- 2 リハビリテーション医療に関連した新規リハビリテーション治療装置の開発
- 3 災害リハビリテーション活動に関する研究



荒川 英樹

あらかわ ひでき

医学部

附属病院

リハビリテーション部

教授

キーワード

リハビリテーション治療
サイトカイン、マイオカイン
運動療法
障がい者スポーツ
ロボットリハビリテーション
災害リハビリテーション
避難所支援

特許情報・
共同研究・
応用分野など

・東京都タマチ工業株式会社と協力して歩行訓練に関連した新規リハビリテーション装置の開発を行っている。

・宮崎市危機管理部地域安全課、災害関連支援組織と協力し、宮崎市での防災訓練や情報共有に関する研究を行っている。

研究概要

急性期リハビリテーション治療の安全性や有用性に関する研究やロボットリハビリテーション装置などのリハビリテーション治療に関連した治療デバイスの開発などを行っています。また、地域におけるリハビリテーション活動として、宮崎県内のロコモティブシンドロームの状況や予防、治療に関する研究、障がい者スポーツの内因的有効性の解明や活動状況の疫学的研究なども行っています。また、南海トラフ地震などの大規模災害時における避難所支援や要配慮者支援などの災害リハビリテーション活動に関する研究を地域防災行政と協力しながら行っています。

1 障がい者スポーツにおけるマイオカインなどの内的因子に関する研究

障がい者の低活動や高血圧、糖尿病などの生活習慣病罹患率の高さは、障がい者特有の健康問題として非常に重要と考えられます。障がい者スポーツは、楽しみながら活動量を高める方法として、障がい者の疾病予防、身体機能や生活動作の維持、QOLの向上などに重要な役割を果たします。宮崎県における障がい者スポーツ活動はまだ未整備、発展途上な状態であり、実際の活動状況調査や問題点の把握などの疫学的研究も重要です。また、障がい者スポーツの実施における安全性や有効性などの内因的な研究も行っています。

2 リハビリテーション医療に関連した新規リハビリテーション治療装置の開発

HALなどのロボットリハビリテーション装置を使用した新たなリハビリテーション治療が盛んに開発されています。当院では、患者自らの足で立位保持を行い、自重負荷を利用したバランスや身体機能、歩行能力の向上を目指した新規リハビリテーション装置の開発を行っています。

3 災害リハビリテーション活動に関する研究

宮崎県は南海トラフ地震において大規模災害の発生が想定されており、地域防災活動の充実が求められています。災害リハビリテーションとは、発災時の避難所などにおける避難者（要配慮者）に対して活動不活発対策や自立生活支援を組織的、計画的に行う活動のことです。避難所の設営や運営、避難者の生活に直接的に関与するため、宮崎市などの地域防災行政やその他の災害関連活動と協力して、効果的な災害リハビリテーション活動を実施するための研究を行っています。

ホームページ

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/>

技術相談に応じられる関連分野

リハビリテーション治療、障がい者スポーツ、運動療法、ロボットリハビリテーション、災害リハビリテーション、防災活動、避難所支援

メッセージ

宮崎から産官学連携で医科学研究の成果を発信しましょう！